

**令和２年度千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
第１回観光部会 議事録**

１ 日時：令和２年５月２９日（水） 午後２時～午後４時

２ 場所：千葉役所議会棟 第４委員会室

３ 出席者：

（１）委員

大原明保委員（部会長）、河合謹爾委員（副部会長）、古賀学委員、西田直海委員

（２）事務局

大町経済部長、長谷部経済企画課長、清水主査、矢永主任主事、萩原主任主事、
上坊寺観光ＭＩＣＥ企画課長、川島上席

４ 議題：

- （１）千葉ポートタワーにおける指定管理者の年度評価に関する事項について
- （２）千葉ポートタワーにおける指定管理者の総合評価に関する事項について

５ 議事の概要：

- （１）千葉ポートタワーにおける令和元年度の年度評価について審議を行い、部会の意見を議決した。
- （２）千葉ポートタワーにおける総合評価について審議を行い、部会の意見を議決した。

６ 会議経過：

【経済企画課長】 本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、定刻となりましたので、令和２年度千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会第１回観光部会を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めます経済企画課の長谷部と申します。

よろしくお願いします。着座にて説明させていただきます。

それでは、議事に入ります前に資料の確認をいたします。配布資料は次第、資料１ 委員名簿、資料２ 本日の議事の流れについて、資料３ 今後の流れについて、資料４ 千葉ポートタワー指定管理者評価資料。また、参考資料は１から４までとなっております。不足等がございましたら、お知らせ願います。

続きまして、会議の成立についてご報告します。本日の出席委員は、総数５名中４名となっており、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、第１０条第２項により、会議は成立していることを報告します。

次に、会議の公開及び議事録の作成についてですが、お手元の参考資料３「千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」をご覧ください。「１ 会議の公開の取扱い」の（１）のとおり、本日の会議は公開となります。

なお、傍聴につきましては１名の方のお申込みがありました。

また、議事録につきましては、「2 議事録の確定」の（1）のとおり、事務局案に対する部会長の承認により確定することとなりますので、よろしくお願いします。

それでは、開催に当たりまして、経済部長の大明より、ご挨拶申し上げます。

【経済部長】 経済部長の大明です。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては日頃より、市政各般にわたりまして多大なるご支援、ご指導をいただきまして、ありがとうございます。また、常任委員の2人の先生方については、一昨日に続き参加いただきまして、ありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴います緊急事態宣言は解除されましたが、このような会議をどのように開くかと言うことを色々検討したんですけれども、委員同士の議論もごございますので、感染症対策を取った上での開催とさせていただいております。ご了承いただきたいと思います。

本日の観光部会は、所管施設の評価として、千葉ポートタワーの年度評価及び総合評価をお願いしたいと思います。

委員の皆様におかれましては、豊富な知識と専門的なお立場から忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、今後の管理運営に反映させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【経済企画課長】 それでは議事に入らせていただきます。ここからの議事は、大原部会長に進行をお願いします。

【部会長】 ただいまから令和2年度千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会第1回観光部会を開会します。

それでは、まず、本日の議事の流れについて事務局より説明をお願いします。

【経済企画課長】 それでは議事の流れについて説明します。

本日は、千葉ポートタワーの年度評価及び総合評価についてご審議いただきます。お手元の「資料2 本日の議事の流れについて」をご覧ください。

千葉ポートタワーの年度評価についてですが、まず、施設の所管課である観光MICE企画課より、令和元年度の施設評価についてご説明いたします。次に、委員の皆様から質疑応答とともに、次年度以降の管理運営を適正に行うための「管理運営状況の評価」、「改善を要する点」、「評価する点」、「法人の財務状況」等のご意見等をいただきます。なお、評価シートに記載されております、「市の評価」や「委員会の評価」については、委員会の意見を踏まえ、ご修正をいただくことが可能でございます。その後、いただいた意見について、事務局にて取りまとめを行います。その間、委員の皆様は休憩となります。意見案ができましたら、改めてご協議いただき、最終的に部会の意見として決定していただきます。

年度評価が終わりましたら、総合評価についてご審議いただきます。年度評価と同様に、まず、観光MICE企画課より現指定期間の総合評価についてご説明します。次に、委員の皆様から質疑応答とともに、次期指定管理者の選定等に活用するため、現指定管理者の管理業務を総括するとともに、サービス向上に向けた取組等についてご意見をいただきます。

なお、総合評価につきましても、既に記載されております「委員会の評価」については、委員会の意見を踏まえ、ご修正いただくことが可能でございます。その後の流れにつきましては、年度評価と同様でございます。

説明は以上です。

【部会長】 それでは、「議題（1）千葉ポートタワーにおける指定管理者の年度評価に関

する事項について」に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

【観光MICE企画課長】 観光MICE企画課の上坊寺です。どうぞよろしくお願い致します。では、着座にて失礼します。

それでは、千葉ポートタワーの令和元年度の評価について説明をさせていただきます。

お手元にございます、指定管理者年度評価シート及び指定管理事業対照一覧表、この2種類の資料で説明をさせていただきます。

まず、年度評価シートをご覧ください。A4縦の資料になります。

最初に、一番上の「1 公の施設の基本情報」につきまして、施設名称は「千葉ポートタワー」、設置目的は国際港千葉港のシンボル及び港と海に親しめる観光施設として設置しております。施設のビジョン、ミッション、見込まれる効果につきましては記載のとおりでございます。成果指標と数値目標につきましては、有料の年間来館者数及び利用者の満足度を指標としています。

続きまして、「2 指定管理者の基本情報」につきましては、指定管理者は株式会社塚原緑地研究所です。指定管理期間は平成28年度から令和2年度までの5年間で、公募により選定されています。

次の「3 管理運営の成果・実績」ですが、「(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況」につきましては後ほど説明をさせていただきますので、ここでは割愛をさせていただきます。

「(2) その他利用状況を示す指標」につきましては、主に自主事業に関する指標となります。昨年度の数字は入っていないのですが、昨年度と比較した場合、催事の売上額以外は減少しています。

続きまして、2ページをご覧ください。

「4 収支状況」についてです。「(1) 必須業務収支状況」の収入についてですが、合計欄の計画額に対する実績額の比較は194万8千円のマイナスとなっています。主な要因は、天候不順や3月の臨時休館による減収が起因していると考えています。また、提案額と計画額ではマイナス63万2千円の差異が生じています。これは計画時、消費税を年間10%で計算しており、9月分までを8%に変更したことによるものでございます。

続きまして、支出についてです。合計欄の計画額に対する実績額はマイナス749万1千円の差異が生じています。これは修繕の内製化や年間を通じた節電、民間電力の活用、委託内容の見直しなどの削減努力により経費を抑制したものでございます。

続きまして、3ページをご覧ください。

「(2) 自主事業収支状況」の収入につきましては、自主事業収入の合計が8,079万4千円と前年度比4.4%の減。右側の支出につきましては、合計は9,465万7千円と前年度比2.3%の増加となっています。

続きまして、「(3) 収支状況」です。必須業務と自主事業を合算した全体の収支を示しています。必須業務で554万3千円の収益を上げておりますが、自主事業で1,386万3千円のマイナスのため、全体の収支は832万円のマイナスとなっています。なお、利益の還元はございません。

続きまして、「5 管理運営状況の評価」でございます。こちらの各評価項目の説明につきましては、指定管理事業対照一覧表使って説明をさせていただきます。A3の資料になります。

まず、「(1) 管理運営による成果・実績」です。年間来館者数の評価方法についてご説明いたします。千葉ポートタワーにおいては、市が設定した年間来館者数の数値目標、8万2千人

に対して、指定管理者がそれを上回る 8 万 9 千人を数値目標として設定しています。市設定目標と指定管理者目標が異なる場合の評価方法としては、下の「評価の内容」のとおり、まず、市設定の数値目標により達成率を計算することとなっています。特記事項欄に記載のとおり、令和元年度の年間来館者数は 7 万 5, 1 4 4 人のため、市設定目標の 8 万 2 千人で割ると、達成率は 9 1. 6 % となり、「評価の内容」の区分に当てはめると評価は C となります。

次に、満足度についてご説明いたします。こちらは、利用者アンケートの満足度調査の項目において、「大変満足」、「満足」と答えた方の割合が 9 0 % 以上であることが数値目標となっています。令和元年度は「大変満足」及び「満足」の合計の割合は 8 5 % であったため、達成率は 9 4. 4 % となります。したがって、「評価の内容」の区分により C と評価しています。

続きまして、「(2) 市の施設管理経費縮減への寄与」については、提案額から約 1. 1 % の増加となる 7, 0 3 2 万 3 千円となっていますが、この増加分は、当初提案額の 6, 9 5 1 万 2 千円から消費税率の変更による差額分の 6 3 万 2 千円を差し引いて、更に新型コロナウイルス感染症拡大の防止に伴いまして、3 月に臨時休館を行ったことにより、収入できなくなった利用料金について、本市は指定管理委託料の変更による補填を行っていますので、補填額の 1 4 4 万 3 千円を加えた金額が指定管理料、実績額の 7, 0 3 2 万 3 千円となります。今回はこれらの特殊な事情を総合的に判断し、評価については、選定時の提案額と同額と考えて、「評価の内容」の区分により、評価は C としています。

続きまして、「(3) 管理運営の履行状況」でございます。まず、表の右から 2 番目の「モニタリング項目年間点数」をご覧ください。表の上に記載があります「モニタリング項目の確認結果」と、「モニタリング項目年間点数の基準」に従って、こちらにはマイナス 2 点からプラス 2. 5 点が入ることになります。0 点は概ね基準どおりと言うことで合格点です。1 点以上のプラスで優れた項目、マイナスだと問題がある項目となります。

評価項目のひとつとまりごとに平均点を算出し、「市の評価の算定に係る評価の目安」に当てはめ、A から E の 5 段階評価を行うこととなります。今回はプラス評価をした部分について、重点的に説明をさせていただきます。

まず、1 ページから 2 ページにかけて、「(1) (2) 関係法令の遵守」の評価項目は概ね基準どおり管理運営が行われているため、全て 0 点となっていますので、評価は C となります。なお 0 点の評価項目については詳細の説明は割愛させていただきます。

続きまして 3 ページをご覧ください。

一番上の「(3) モニタリングの考え方」のうち、「利用者アンケートの実施・分析の状況」では、利用者満足度調査の他に、事業ニーズ調査としてレストランのアンケートを実施、アンケートの意見を踏まえて利用者ニーズを分析し、メニューの開発や事業内容の改善に取り組んでおり、概ね管理運営の基準どおりの取組みが確認できましたので、「モニタリング項目の確認結果」を〇とし、事業計画書・提案書のプラス評価欄が◎であることから、評価を 1 点としております。残り 2 つの評価項目は全て 0 点としています。

結果、「モニタリング項目の年間点数」の平均値が 0. 3 となり、評価は C となります。

また、下 2 行の「(1) 利用者サービスの向上」の評価項目も全て 0 点としていますので、評価は C となります。

続きまして、4 ページをご覧ください。

上 3 行の「(2) 利用者への支援」の評価項目は全て 0 点としていますので、評価は C と

ります。次に、下から3行目の「(1) 利用促進方策」の評価項目は、眺望をメインとしたパンフレットを市内施設に配布するなど、継続的な周知を実施したほか、インバウンド客の獲得のため、旅行会社へ営業を行い、ツアーを獲得するなど積極的な対応を図っていることが確認できましたので、「モニタリング項目の確認結果」を◎とし、評価を2点としています。

結果、モニタリング項目年間点数の平均値が0.6で、評価はBとなります。

続きまして、5ページをお願いします。

「(2) 施設の維持管理」の評価項目は、概ね基準どおり管理運営が行われているため、全て0点としていますので、評価はCとなります。

続きまして、6ページをお願いします。

「(3) 自主事業の効果的な実施」の評価項目ですが、まず、1行目の「恋人の聖地」事業の展開状況では、恋人に特化したフォトジェニックスポットの設置やコンサート、各種イベントの実施、市民企画事業として写真展や作品展などの市民ギャラリーを実施するなど、「恋人の聖地」の知名度向上に努めており、概ね管理運営の基準どおりの取組みが確認できましたので、「モニタリング項目の確認結果」を○とし、事業計画書・提案書のプラス評価欄が◎であることから、評価を1点としています。

続いて、真ん中の「1階売店、3階ラウンジ、上の広場の運営状況」については、台風15号や新型コロナウイルス感染症の拡大による休館や利用者の減少など、厳しい運営環境の中で、1階売店事業では、概ね事業計画や提案に基づく管理運営が行われ、3階レストラン事業でもランチバイキングや季節に応じたメニューを入れ替えるなど積極的な運営に取り組んでおり、また、上の広場では千葉ポートパークと連携し、バーベキューを行うなどの取組みにより、「モニタリング項目の確認結果」を○とし、事業計画書・提案書のプラス評価欄が◎であることから、年間評価を1点としています。

3行目の「イベントの実施状況」については、新たなイベントとして、映画の公開に合わせたタイアップ事業や展望階のイルミネーションのライトアップ事業、ハロウィンイベント、ナイトタイムエコノミー事業を開催するなど集客に努めたほか、開館時間についても柔軟な運用が行われたことが確認できましたので、「モニタリング項目の確認結果」を◎とし、年間評価を2点としています。

続きまして、7ページをお願いします。

「周辺施設等との連携事業」については、千葉市みなと活性化協議会に構成委員として参加するほか、千葉市みなとエリア活性化検討会ではイベントに参加し、フリーマーケットやイルミネーションを実施するなど海辺のにぎわい創出に努めており、概ね管理運営の基準どおりに管理運営が行われていることから、「モニタリング項目の確認結果」を○とし、事業計画書・提案書のプラス評価欄が◎であることから、年間評価を1点としています。

結果、「モニタリング項目年間点数」の平均値が1.25で、評価はBとなりました。

最後に、「4 その他」については、概ね計画どおり行われているため、全て0点ですので、評価はCとなります。

管理運営の履行状況についての説明は、以上でございます。

恐れ入りますが、一度、年度評価シートにお戻りください。ただいま説明した内容については、年度評価シート4ページの内容になります。

続きまして、説明は年度評価シートの5ページからになります。

「(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応」についてですが、これ

まで、概ね適正な管理運営を行っているという評価をいただいている中で、昨年度、「イベント内容に合わせた開館時間の延長など、施設の柔軟な運用により利用者の増加を図ること」とのご意見をいただいております。これについては、年始の臨時開館やクリスマスに合わせた開館時間の延長に加え、タワーを活用した新たな体験型夜間イベント、ダンスイベントである通称「タワパ」を企画し、開館時間を延長して実施するなど、新たな集客に努めています。

続きまして、「6 利用者ニーズ・満足度等の把握」ですが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査」では実施内容に記載のとおり、2つのアンケートを実施しています。アンケート調査の結果は結果欄に記載していますが、(1) のアンケートの満足度や従業員の対応については、昨年度と同様の評価をいただいております、随時継続的なサービスの向上に努めている結果が反映されているものと思われます。

次の(2)のレストランアンケートの価格については、「良い」以上の割合が前年度の44%が59%へ、料理の内容については「良い」以上の割合が前年度の46%が54%へ、それぞれ改善されたアンケート結果となっており、引き続き、改善に向けた継続的な取り組みが必要であると考えられます。

続きまして、「(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見、苦情と対応」については、市に寄せられた意見はございませんでしたが、現場で受けた意見とその対応については記載のとおりでございます。

続いて、6ページをご覧ください。

こちらは、再び対照一覧表を使ってご説明いたします。A3横の資料の最後のページです。

「7 総括」として、「(1) 指定管理者による自己評価」について、指定管理者としては総合評価をBとしています。

所見としては、まず、施設の適正管理について、施設の点検と老朽箇所の事前改修の徹底など、管理運営の基準に沿った適切な業務遂行ができたと考えています。次に、管理運営の成果・実績については、有料入館者数は目標に対して84%、無料入館者は目標に対して87%と目標を達成できなかったが、旅行会社等への営業を行い多くのツアーを獲得、しかしながら自然災害の影響や新型コロナウイルス感染症拡大による休館措置などの影響が目標未達成の要因の1つと考えています。次に、利用者サービスの向上については「大変満足」及び「満足」の割合が85%と、目標の90%には届きませんでしたが、昨年度と比較した場合に改善することができている。その他として、新たな企画提案「タワパ」がナイトタイムエコノミー支援事業に採択され、計5回開催、389人の参加があり大変盛況であった。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の指示により休館した、との所見となっています。

続きまして、「(2) 市による評価」についてですが、右下の集計結果をご覧ください。

先程ご説明しました、「管理運営状況の評価」の各評価項目に対する市の評価を集計した表になります。Bが2個、Cが10個となっています。この集計結果を「市による総括評価の目安」の表に照らして評価をした結果、市の総括評価をCとしました。

所見としましては、施設の適正管理、管理運営の成果・実績、利用者サービスの向上については、先程、指定管理者が所見として記載していた内容とほぼ同様と考えていますが、収支状況については、様々な機会を捉えて前向きに取り組んでいる点については評価できますが、利用者からの意見を踏まえ、新たな集客イベントを計画するほか、レストランのメニューの改善や売店の商品の充実、周辺施設と連携した千葉みなとエリアの活性化について更に取り組むなど、引き続き、効果的な自主事業の実施について検討して欲しいとの評価としました。

では再度、年度評価シート、A4縦の資料の6ページにお戻りください。

最後に、一番下の「(3) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見」にいては、まず、概ね適切に管理運営が行われていることが認められたため、その内容を記載しています。次に、「引き続き、利用者のニーズや時節を捉えた集客イベント等の企画や事業を実施するため、イベント内容に合わせた柔軟な運用により利用者の増加を図ること」、また、「自主事業については、厳しい営業環境にあります、タワーの特性を生かした企画等による収入の増加に努めること」、さらに、「新型コロナウイルス感染症拡大により集客を目的とするポートタワーの置かれている状況は極めて厳しいことから、適切な感染対策を講じながら、観光施設としてのミッションを果たすこと」という内容で意見案を記載させていただいています。

年度評価の説明は以上でございます。

【部会長】 ただいまの説明に対しまして、ご質問、意見等がありましたら、ご発言をお願いします。なお、意見については、後ほど部会の意見として取りまとめますので、意見であることを明確にさせていただきますよう、ご協力をお願いします。

4ページの「市の評価」、6ページの「委員会の意見」については、委員会の意見を踏まえて修正することが可能ですので、ご意見があれば理由を明確にし、ご発言ください。

それでは、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。お願いします。

【副部会長】 よろしいですか。

「資料2 本日の議事の流れについて」の「評価の視点等」の項目、「改善を要する点」、「評価する点」、それと、指定管理者の「法人の財務状況」についてのご意見と言うことで、これは、6ページの「委員会の意見」と繋がるものだと思うので、意見を述べたいと思います。

1つは法人の財務状況について、後ろの方の財務諸表等ですが、私は以前、別の部会で塚原緑地研究所の財務諸表についての開発費償却不足について指摘しました。それについて、塚原緑地研究所から、今後、変えていくと言う回答を市の方から得ましたので、それについて、その回答どおりに対応しているかどうか、市の関係者はしっかりフォローしていただきたいと言うことが1つでございます。今ある財務諸表では何も分からないので、今後、出てくるものを検討していただきたい。

【部会長】 開発費は繰延資産ですよ。

【副部会長】 そうです。繰延資産です。

【部会長】 貸借対照表の繰延資産のうち、開発費4,000万円ですよ。

【副部会長】 4,000万円です。この表だけではわからないんですが、開発費については、償却は次の次のページ、個別注記表で重要な会計方針と言うのがあると思います。その1の(3)②のところに、「繰延資産、開発費については法人税法の規定により償却しています」と言う表記がされているんですが、他の部会で資料をいただいたものによると、開発費の償却は基本的に法人税法では5年以内に償却すると言う形になっているんですが、明らかに5年を超えて、つまり税引き前の状況が赤字になるので、赤字にならない数字で償却費を止めていたと言う状況が明らかになりましたので、そう言うご指摘をさせていただきました。それでよろしいですか。

【部会長】 他の部会で、塚原緑地研究所の繰延資産の計上の仕方について問題があるということで、結論はどうだったんですか。改めると言うことになって、これは改まっているんですか、それとも改まっていないんですか。

【副部会長】 いや、これは改まっていないです。

【部会長】 つまり、法人税法の規定による定率法には従っていないと。

【副部会長】 はい、従っていない。

【部会長】 そこで、問題はどうなるんですか。以前、他の部会ですけれども、これが問題になって、その結論はどうだったんですか。「改める」だったんですか、それとも「改めない」だったんですか。

【副部会長】 「改める」です。

【部会長】 それで、改まっているのかどうなのかと言うのは。

【副部会長】 いや、まだ結果はわからないわけです。

【部会長】 じゃあ、今、議論するわけにはいかないでしょう。

【副部会長】 いや、改めると言う回答をいただきましたので、それに従ってされているかどうか、今後の資料をフォローしてくださいと言うお話です。

【部会長】 改まっているのかどうかを、確認を願いたいということですね。

【副部会長】 ええ、お願いします。

【部会長】 わかりました。次の質問をお願いします。

【副部会長】 次に、自主事業の収支について、まだ大幅な赤字が出ている状況なので、それについては6ページの「委員会の意見」についての3番目に書かれていると思います。「収入の増加に努めること」とあるんですが、「収支を適正に運営するように」と言うことが必要と言うのが2点目です。

【部会長】 自主事業について赤字を出しているのは分かります。どこが問題になっているのか、問題提起と言うか、ご意見はどうなんですか。

【副部会長】 今期もそうですが、4年にわたって赤字の状況が続いており、今後について、収支を改善できるように運営していただきたいと言うことです。

【経済部長】 確認ですけれども、「収入の増加に努める」と言う言葉ではなくて、「収支をもう少しきちんとするように」と言う意見の修正と言うことでよろしいですか。収入だけでなく、経費もカットできるんでしょうから、収支が大事だと言う意見が良い、と言うことでよろしいですか。

【副部会長】 はい。私の意見です。

【部会長】 自主事業の赤字についてですけれども、市としては、収入が伸びないので発生した赤字と言う捉え方をしている。それに対して、今の指摘と言うのは、収入に見合うように支出も抑えれば均等が取れるんじゃないかと、そう言う違った方向からの指摘と、それでよろしいんですか。

【副部会長】 基本的に、それでよろしいですね。ただ、収入が伸びないと難しいだろうとは思いますが、今まで4年間の状況を見ると、積極的な自主事業を展開していると言うことは評価されますが、どうしても収支がアンバランスになっている状況は好ましくないんじゃないかと言う指摘です。

【部会長】 他に何かご意見ございますか。

それでは私から細かい点についてですが、事業報告書13、14ページ。13ページ中程の利用料金収入の内訳と言う欄に、「望遠鏡の使用料」と言うのがあります。それと14ページの「イ テレビ望遠鏡使用料の状況」と望遠鏡が2種類出てきますが、これは別物なんですか。説明をお願いします。

【観光MICE企画課長】 通常の、レンズを通して見る望遠鏡と、テレビの様な画面を通

して遠くの風景を見る、目をレンズに付けるよりも若干見やすくなっているタイプの望遠鏡があります。

【部会長】 利用形態はコインを入れて見るので、外形は見れば同じなんだけれども、移る画面が、レンズ越しとテレビとで違うと言うことですか。

【観光MICE企画課長】 そうですね。望遠鏡の種類が違うと言うことです。

【経部会長】 覗き込まなくても見えるものです。

【部会長】 昔からこう言う2種類があるんですか。

【観光MICE企画課長】 いつからかと言うのは定かではありませんが、ここ最近がございます。

【部会長】 分かりました。

先程の繰延資産の計上についてに戻るんですけど、新しいものはいつ、どう言う形で出てくることになるんですか。

【副部会長】 9月末決算の会社なので、その決算を締めたとき、法人税申告書も含めて、それを見れば分かると言うことです。

【部会長】 市にはそれが入手できることになっているわけですね。

【観光MICE企画課長】 次の期の決算報告書、それは入手します。

【副部会長】 法人税申告書も。

【部会長】 それと、新型コロナウイルス感染症による利用者料金の減少の補填と 言うこともありましたが、それに関連して、モニタリングレポートの最終ページに、臨時休館の時期が3月3日から3月24日と書かれていますが、3月25日からは開けたと言うことですか。

【観光MICE企画課長】 3月に休館を行ったのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、学校の休校措置を取りました。その際に、子供が家にいる時にポートタワーが開いていると、ポートタワーに集まってきてしまって、クラスターのリスクがあると言うことで学校の休校措置に合わせて閉めたと言う事情がございます。学校の休校措置が春休みに入ったと言うこともあります。感染拡大防止策を取った上でポートタワーも25日から開けたと言う事情がございます。

【部会長】 その後は、また学校が休みになったけれども、どうですか。

【観光MICE企画課長】 次は4月に入ってから、まず、千葉県から自粛要請が出たと言うこと、その後に、今度は全国的な緊急事態宣言が出たと言うことがありまして、それに伴って休館しました。その後、首都圏は緊急事態宣言が5月25日に解除になったので、5月26日からポートタワーは開けています。

【部会長】 今現在、開けたばかりと言うこと。

【観光MICE企画課長】 3階のレストランについては、換気ですとか間引きで対策が出来ていないと言うところもあるので、まだ閉めているところです。1階の売店についても、準備が出来次第、恐らく今週の週末頃にはオープンできる予定となっています。

【部会長】 5月の何日から再開しているんですか。

【観光MICE企画課長】 5月26日から再開しました。

【部会長】 今回対象の年度評価じゃないんですけど、今年の分と言うことで 考えると、昨年以上に休館期間が長いので、当然また指定管理料の補填と言うか、そう言うことが今年度も予定されていると言うことでよろしいんですか。

【観光MICE企画課長】 はい。

【部会長】 他に意見はございますか。どうぞ。

【委員】 細かいことなんですけど、1つは観光的に考えると、Cが平均ぐらいだと思うんですけども、何か1個ぐらいAがあつて良いかと言う感じがするんです。Aをつけるとすると、この事業の中ではイベントとか、そういった事業になってくと思うんです。建物の管理とかそういったものは、ほとんど決められた路線でやっていくということなので、イベントも色々なことをやられているんですけども、今一つ目玉と言うか、特徴的なものがない。要するに、歳時記的な、節目節目のイベント、悪い言い方をしてしまうと羅列しているということになるのかも知れません。それはそれなりに人を集めていると言う感じなんですけれども、年度評価シートの最初に戻って、施設の「ビジョン」とか「ミッション」に書かれている「地域の活性化」だとか、「回遊性を高める」といったところの評価をきちんとやるべきではないかと思います。

それに見合った事業、回遊性を高めるためのイベントであつたり、その他色々な連携事業だとか、そういったものをどれだけやったのかと言うこととか、地域活性化であれば、食材を千葉市、あるいは、千葉県内で買って、それがどのぐらい波及効果があつたのかとか、そこまでいかないと、「ミッション」とか「ビジョン」の達成と言うのは分からないのではないかと思います。それを入れると、報告書ももう少し強弱が付いてきてよろしいんじゃないかと思います。やっているのかも知れないけど、もしやっているんだつたら、もう少し強調した形で出すと。それが今度は次に繋がっていくと思います。

同じ様なことをだらだらやっている、ずっとCでお終いみたいなことに成りかねないので、「ビジョン」と「ミッション」と言うのを振り返って、もっと言えば、「シンボルタワー」、「千葉港のシンボル」、それから、「港と海に親しめる観光施設」、この辺に本当になっているのかと言うところが大切じゃないかと思うんです。今回、それなりのデータをとっていなければ評価のしようがないんですけど、数字だけじゃなくて、口頭だけでも良いですから、「ビジョン」の達成評価みたいな、そういったものも最後、1行なり何なり入れた方が良いのではないですか。本当はそれが1番の評価になるので、あつた方が良くと思います。

それと、2つ目、少し話は変わるんですけど、危機管理です。新型コロナウイルス感染症に関して、良い対応を取られたと言うことなんですけど、また何かあつたとき、他にもマニュアルは作っていると思いますけど、プラス観光施設の危機管理マニュアル、これは千葉市の観光関連施設にある程度応用が利く形のものを、この際、ここが作るのか市が作るのか分かりませんけれども、そう言ったものを作られると良いのではないかと思います。

実は、神奈川県はちょうど去年3月に観光地の危機管理マニュアルと言うのを作ったところなんです。たまたま偶然作って、そしてこう言う状況になって、それが活着しているかどうかはまだ検証していないんですけど、ただ、知事はそれに合わせて一生懸命やっていました。結構テレビにも出ていましたし、色々な独自の対応もしていましたので、多分意識的にはこの報告書によるものがかなり強くあつたんじゃないかと思います。ですから、この際、そういったものも、これは次回の事業の中かも知れませんが、今のうちにやっておいた方が良くかと言う感じがしました。

【部会長】 年度評価の結論部分と言うか、6ページの最後、「委員会の意見」の3項目、これは表現なんですけれども、「自主事業については、厳しい営業環境にあります」と突然ですます調になっているんです。これは言葉として「あるが」とした方が良くと思うんです。

他に、変更、削除すべき、付け加えるべき、こう言う風に変更すべきと言うところに絞って、ご意見がございましたら、ご発言をお願いします。

【委員】 少し聞いてもよろしいですか。

【部会長】 どうぞ。

【委員】 塚原さんのポートタワーの管理は何年ですか。

【観光M I C E企画課長】 指定期間は5年間です。

【委員】 今年は何年目ですか。

【観光M I C E企画課長】 今年が5年目、最終年度になります。

【委員】 今年が最終で、総合評価も今日やるということですね。すると、塚原さんから変わるということもあるということですね。

【観光M I C E企画課長】 可能性としては当然あり得ます。

【委員】 塚原さんの今回の指定管理者としての評価を今日はするということですよ。さっき委員が仰ったみたいに、ずっと平均値でやってきたと言うことを市としては、もう少しこうしたいとか、塚原さんも立候補するのもかも知れないし、違う指定管理者の方も出て来るのかも知れないし、こんな状況だから、そう言う事はなかなか無理で、これから立候補する人が出て来ないのかも知れないけれども、何か背中を押すと言うか、そう言う形は考えているのかどうか。評価とは外れてしまって申し訳ないけれども、そこのところを聞かせていただけますか。

【観光M I C E企画課長】 先程、委員の方からもお話がありましており、主に自主事業に力を入れて、塚原緑地研究所にはやっていただいています。年度評価シートの4ページをご覧くださいれば分かりやすいかと思うんですけども、A評価はついていないんですが、3の「(3) 自主事業の効果的な実施」のところでは、B評価にはなっているんです。その中の要素としまして、例えば、1階売店、3階ラウンジ、これはレストランの運営状況と言うのがあるんですけども、千葉県産の食材を使ったらどうかと言うところにつきましては、既にレストランで、特に千葉県産の豚肉を使った特色のある料理を売り出していこうと言う努力をしていることと、それから、周辺施設との連携事業と言う項目もあるんですけども、例えば、市も関わって実行委員会形式でやっています千葉湊大漁まつりですとか、そういったところで、あの辺一帯として、タワー単体ではなくて、地域全体、千葉ポートパークも一体となって、市民の皆様を中心として、県内、若しくは県外の皆様にもこういった場所があるんだと知ってもらうということに、取り組んでいます。

加えまして、市の方で、観光と言う事業領域の内の1つとして、少しでも観光消費額を高めて行こうと言う取組みの1つとして、ナイトタイムエコノミーを推進している中で、指定管理者であります塚原緑地研究所もその一環として、タワパと言うことで夜の時間帯を活用して展望塔でダンスパーティーを開いて、新たな集客を取り込んで行こうとしました。その結果として、令和元年度、自主事業の特に催事の部分の売上げが例年よりも増えているといった効果を出しています。

私どもも、「観光M I C E企画課」と言うことで、M I C Eを開催、例えば、国際会議を開催する際のユニークベニューと言うことでポートタワーを使っていくことが出来ないかと言う考えの中で、まず、ナイトタイムエコノミー事業、タワパを実施し、それで実績を作りたいと考えていたんですけども、残念ながら、新型コロナウイルス感染症が発生した状況で、そういったことがすぐには考えにくい状況にはなってしまったところがあります。私どもとしては、少しでもタワーを親しんでもらう、タワーの利用者を増やす、そして、私どもが

進めようとしているM I C Eなり国際会議の価値を高めていくと言うことで使っていきたいとは考えているところでございます。

【委員】 そこが1番大事なところなんですけど、1番何も出来ないところでもあるので、それを評価に出せる様にした方が良いと思うんですね。あるいは、計画したけれども、駄目だったと言うのは非常に大事なことで、今後、それをまたやるという意味では、またゼロから考えるよりは良いのであって、駄目になったことも書いた方が良いのではないかと。

【観光M I C E企画課長】 まさにそうですね。あと、もう少しお話しさせていただきますと、団体の観光客、特に海外からの団体の観光客を一生懸命取り込もうと言うことで、塚原緑地研究所も頑張っていたんですけども、それも残念ながら、多数キャンセルになってしまったと言うところです。ただ、私どもとしては、そこも評価をした上でBと言う評価としています。実際は、収支が赤字で、一生懸命頑張っているけれども、それがお金の面で、結果として残せていないと言うところを考慮して、最終的にはBと言う判断にしているんです。

【委員】 それは読んでも分からないことですよね。読んで分からないところをいかに出して評価するのかどうかと言うのは大事なことですよね。

それと先程言いましたように、1番ビジョンに繋がる場所ですから、1番大事なことじゃないかと思うんです。数字で分かるのが1番評価しやすいんですけども、観光の場合には、意外と観光客の数ばかり追っているから、今回のような、減ったら駄目になってしまうみたいなことになるので、質の部分をきちんと、やる、やらないは別としても、できればやった方が良いでしょうけど、評価することが大事なんじゃないかと思います。ユニークベニューなんて言葉は資料には出ていないと思うんですけど、まさに非常に大事な視点かも知れないですね。

【部会長】 自主事業の赤字と言うのは、市にとってどう言う意味合いを持つんですか。赤字の点をマイナス評価めいた表現で言っていますが、自主事業の赤字と言うのは全然問題ないんじゃないですか。だったら、どんどんミッション、ビジョンを達成するために、腕を発揮するところは自主事業なので、色々やったけれども、結局経費をカバーするまでの収益には結び付かなかったと言うことであれば、それはバランスを取りなさいと言うのは、逆に委縮させるんじゃないかと思います。自主事業の赤字分を市で補填しろと言うことになると、それは困る言うことになるでしょうけれども、必須事業は十分にこなしています。

自主事業こそ、まさにミッション、ビジョンを自分の能力で発揮する余地のあるところだと思うので、決算の結果が赤字だからといって、マイナス評価に結び付けるような見方と言うのは、誤った見方じゃないかと私は思います。

他にご発言、ございますでしょうか。

【副部会長】 そうであるならば、市の評価にも書かれていますけれども、委員からの意見としても、自主事業と言うのは、ここの指定管理者の「売り」だし、対照一覧表の6ページの「自主事業の効果的な実施」と言うところは、結果的には収益が上がりなかったかも知れないけれども、こここそが市がやって欲しいところであり、その努力も、結果はとにかく努力したと言うことを、年度評価の6ページにももっと書くべきだと思います。つまり、千葉市とみなとの活性化と言うことを、千葉ポートパーク、ポートタワーを中心とした形で実行されていると言うことを、自主事業の効果として評価すると言うことを書くべきではないかと思います。

【部会長】 今の意見ですけども、先程の自主事業のバランスを取るように、と言うご意見とはどう言う関係になりますか。

【副部会長】 ただ、そういう事業を行う会社としては、収支のバランスは考えるべき、と

言うのが先程の自主事業についての意見ですけれども、それとは別に、この指定管理者の評価する点として、自主事業のみなどの活性化で、成果があったと言うことを書くべきなのではないかと思います。そう言う企画の結果、集客イベントが成功になってきていると、収支はともかくとして。

6ページの委員会の意見として、2番目のところの文章を少し変えるか、追加するべきなんではないかと思います。

【部会長】 自主事業が集客の成果を上げていると言うのは、裏づける資料はどれですか。

【副部会長】 対照一覧表の6ページの「(3) 自主事業の効果的な実施」と言うところです。ここの4項目、全て自主事業の成果、金銭面じゃない成果のことを示していると思います。

【部会長】 成果と言うのは何を言うかと言うと、来客数ですよ。集客に結びついていると言うのは、自主事業とどの様に繋がるのか。

【観光MICE企画課長】 よろしいでしょうか。

対照一覧表の6ページには、数値的なところではなく文言で成果として書いてあるんですけども、そこに先程申し上げました、市のナイトタイムエコノミー推進事業の一環として、ダンスイベント、タワパを開催したといったことが書いてあります。

もう1つ、それを数値的なところで示しているのが、年度評価シートの1ページ目、1番下の表の中の「催事売上額」と言うのが681万3,120円と書いてあるんですけども、これは前年度が3百数十万ぐらいだったので、ここは明らかに増えています。その1つの要因が、こういったイベントを開催しているところ、これは数値で示されているところです。

そういったことを踏まえて、年度評価シートの6ページの委員会の意見として、意見の3つ目のところで、例えば、「厳しい営業環境にあります」と言うところで一度切り、「タワーの特性を活かした企画等を積極的に行っていることは評価するが、収支の改善に努めること」といった趣旨の修正と言うことで、積極的に行っていることを評価するのはいかがでしょうか。

【部会長】 評価していると言えるのは、成果に結びついていると言えるかどうかと言うところなんです。

【観光MICE企画課長】 数値としては、年度評価シートでお示ししましたとおり、催事の売上額は数値として増えております。ただ、収支と言うところで見ると、当然、売上が増えた分、コストも増加しているので、どうしても赤字にはなっている。そこは収支の改善は頑張ってくださいと言うことになると思います。ただ、売上が増え、お客さんも増えていると言うこと、これは数値で出ておりますので、そういった取組みを積極的に評価しますと言うのが委員のご意見だろうと認識しました。

【部会長】 極めて厳しいと言うのは収支の方であって、自主事業については、当委員会の意見の中にも評価するべきであると言うことですね。

他にご発言、ございますでしょうか。どうぞ。

【委員】 年度評価シートの4ページ、4番目に「その他」とあるんですけども、「その他」と言うのは、意外と結構重要な部分ではないかと思います。市内業者の育成だとか障害を持つ方々の雇用促進だとか、これをやることによって収支が厳しくなることもあり得るわけですよ。地域の業者を使わないで、もっと大きなところから買い込めば材料費も安くなるなんて言うことも起こり得るかも知れない。ただ、地域のことを考えると、こう言う努力をしていると言うことは評価に繋がるんじゃないかと思うんです。最初の「ビジョン」の地域活性化に繋がっているところが、実は「その他」のところではないかと。多分、自己評価がBになって

いて、ここも結構努力している。ただ、それがなかなか数字で出て来ない。

そこで市の方は評価しにくいということになっていると思うんです。ですから、この辺を今度、ここで評価するかは分かりませんが、次回はもう少し、4番目に、「その他」じゃなくて「地域活性化事業」とか、そういう項目を設けて地域業者の育成だとか雇用の促進だとか、周辺施設との連携といったのをやって、例えば連携であれば、観光客がどう言うふうに回遊したかと言うデータが出るようなアンケートをすとか、そういう視点も大事なかなと言う気がしました。地域活性化と言う意味では、そういう視点が、これではよく見えていない。だけど、Bと言う自己評価の中では多分、かなり努力したんじゃないかと言う気がして、自分でBを付けたと思うんです。

ですから、年度評価に、その辺の評価も入れても良いかなと言うことで、地域活性化に関しては努力が認められるみたいな、あるいは、努力しているようである、ぐらいのことを入れてあげても良いかと言う感じはしなくもないですね。

【部会長】 色々意見は出ましたけれども、まとめる上で確認と言うか、質問があれば、お願いします。せっかくまとめていただいて、そういう趣旨じゃないということになってしまうと、また違うと思いますので。

【観光MICE企画課長】 最後に、委員からいただいたご意見についてなんですけれども、これも委員会の意見の中で、もう1つコメントとして加えた方が良いと言う理解でよろしいでしょうか。

【部会長】 私が理解しているところでは、これに加えると言うか、あるいは、4項目の修正と言う形での自主事業の評価を加えるべきだと言うのが、委員会の意見のような気がするんです。それをどうまとめるのかということになると、極端な話では赤字を出してでもやれということになるのか、それともバランスを考えてやりなさいということになるのか。

【観光MICE企画課長】 先程、ご意見をいただきました、「その他」の欄で、指定管理者がBを付けているところなんですけれども、これは「その他」の中の開館時間、それから、休館日と言うところ、対照一覧表でいきますと、7ページの一番下のところです。ここについて、先程のナイトタイムエコノミー、タワパのときに開館時間を夜延長して実施したり、正月の日の出の時に開けたり、それから、新型コロナウイルス感染症への対応として休館対応を取ったり、そういったことで指定管理者がBをつけていると理解しています。

その一方で、「市内業者の育成」ですとか「市内雇用の配慮」と言うところは、ここは事業計画や提案書に記載のとおりのことを行っていると言うことで、ある意味、普通と言うことになります。

私どもは、開館時間や休館日については、「(3) 自主事業の効果的な実施」の中の「イベントの実施状況」のところでBと評価をしていますので、「その他」のところはCとつけています。ただ、例えば、修繕などで市内業者に当然、優先的に発注をするですとか、それから、法令に従った障害者雇用を確保していると言うところで、地域への貢献が認められるところは、これは事実としてはあると思いますので、そういった意見を追加するということになるんでしょうか。

【委員】 評価は上げなくても良いですけれども、書いてあげると、少しは励みになると思います。万が一、次回、どこか他のところになるかも知れませんが、そういう視点があるんだということが明確になって良いのではないかと思います。

【部会長】 これで取りまとめに移りますけれども、どうですか。

【観光MICE企画課長】 今、私が理解しているところで読み上げてよろしいでしょうか。

【部会長】 お願いします。

【観光MICE企画課長】 年度評価シートの6ページの最後の委員会の意見と言うところになります。

1つ目、2つ目はそのまま、3つ目、自主事業については、「厳しい営業環境にある」で一度区切ります。「タワーの特性を生かした企画等を積極的に行っていることは評価するが、収支の改善に努めること」。4つ目はそのまま、最後、5つ目を追加しまして、「市内事業者への発注や、市内雇用への配慮を適切に行い、地域への貢献をしていることが認められる」といったところでしょうか。

【部会長】 文字にしたらもう少し違ってくるかもしれませんが、大筋、そういう方向のまとめ方で異存ございませんか。

じゃあ、まとめていただくことで、しばし休憩に入ります。10分ぐらいでお願いします。

【観光MICE企画課長】 3時半から再開でお願いします。

(休 憩)

【部会長】 それでは、再開いたします。

取りまとめた意見案ですけれども、事務局、お願いできますか。

【経済企画課長】 では、申し上げます。

1点目、「概ね適切な管理運営が行われていると認められる。」2点目、「引き続き、利用者のニーズや時節を捉えた集客イベント等の企画や事業を実施するため、イベント内容に合わせた柔軟な運用により、利用者の増加を図ること。」3点目、「自主事業については、厳しい営業環境にある中、タワーの特性を生かした企画等を積極的に行っていることは評価するが、収支の改善に努めること。」4点目、「新型コロナウイルス感染症拡大により、集客を目的とするポートタワーの置かれている状況は極めて厳しいことから、適切な感染対策を講じながら、観光施設としてのミッションを果たすこと。」5点目、「市内事業者への発注や市内雇用については適切に行い、地域への貢献が認められる。」

以上でございます。

【部会長】 今、取りまとめていただいた意見についてのお考えがございましたら、発言ください。

特にご異存なければ、取りまとめていただいた意見を当委員会の意見と言うことにしたいと思いますが、いかがでしょうか。本部会の意見としては、ただいまのとおり、決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「結構です」の声あり)

【部会長】 それでは、その旨、決定いたします。

なお、意見の文言の整文等については、私にご一任願います。

次に、「議題(2)千葉ポートタワーにおける指定管理者の総合評価に関する事項について」入ります。

事務局より説明をお願いいたします。

【観光MICE企画課長】 では、続きまして、指定管理者総合評価シートについて説明をさせていただきます。

最初に、「1 基本情報」につきましては、先程ご説明したとおりでございます。

「2 成果指標等の推移」では、「(1) 有料の年間来館者数」は、4年間で34万284人、

市設定の数値目標は32万8千人で達成率は103.7%となっています。また、「(2) 利用者の満足度」は4年間の平均で、実績値は79.2%、目標は90%以上となりますので、達成率は88%となります。「(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標」については、ご覧のとおりの実績となっています。

続きまして、2ページをご覧ください。

「3 収支状況の推移」ですが、4年間の総収入が7億3,466万1千円。総支出が7億8,432万4千円で、収支は4,966万3千円のマイナスとなっています。

続きまして、3ページをご覧ください。

「4 管理運営状況の総合評価」でございます。こちらの各評価の説明については、管理運営状況の総合評価の抜粋一覧表、A3縦の資料になります。この表で説明をいたします。

評価項目「1 成果指標の目標達成」については、概ね成果指標を達成していることから評価をCとしました。

次に、評価項目「2 市の施設管理経費縮減への寄与」については、提案時の提案額とほぼ同額で運営されているため、評価をCとしました。

次に、評価項目「3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理」については、提案書・事業計画書のとおり、関係法令等を遵守しながら運営されていることから、評価をCとしました。

次に、評価項目「4 市民サービスの向上」の「(1) 利用者サービスの向上」については、業務責任者や有資格者を配置して組織体制を構築し、適切に利用者サービスに努めており、また、職員に対する各種研修に力を入れ、能力の向上に努めていることから評価をCとしました。次に「(2) 利用者への支援」については、ホームページによる情報発信や館内案内の充実に努めるほか、防災マニュアルを整備するなど、非常時の手順についても明確化を行い、利用者の安全対策を行っているため、評価をCとしました。

次に、評価項目「5 施設の効用の発揮、施設管理能力」、「(1) 利用促進の方策」については、パンフレット、チラシの配布やポスターの掲示、ホームページやSNSの活用、適宜プレスリリースを行うなど積極的な情報発信を行っているため、評価をBとしました。

次に、「(2) 施設の維持管理」については規則、マニュアルに基づく施設管理、保守管理、設備・備品の管理、清掃、警備が適正に実施されていることから評価をCとしました。

次に、「(3) 自主事業の効果的な実施」については、利用者、入館者の増加を目指して継続イベントのほか、新規のイベントの開催に取り組むなど、創意工夫を凝らしていることから評価をBとしました。

次に、評価項目「6 その他」については、市の選定基準に合わせて業者選定を行っており、また、市内在住の雇用、障害者の雇用及び職員全員の継続雇用に配慮し、開館時間や休館日は条例の定めるとおり実施していることから評価をCとしました。

「4 管理運営状況の総合評価」についての説明は以上でございます。

恐れ入りますが、総合評価シートにお戻りください。3ページになります。

総合評価につきましては、概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていたことから、評価をCとしました。

続きまして、4ページをご覧ください。「5 総合評価を踏まえた検討」でございます。

「(1) 指定管理者制度導入効果の検証」については、事業計画どおり、また、継続イベン

トのほか、新たな企画による来館者の確保に真摯に取り組み、成果指標1の年間の目標来館者数は達成したことやレストラン及び売店については、アンケート結果などを反映した事業運営を行うなど、利用者の利便性の向上が図られていることを踏まえ、当初見込んでいた効果が概ね達成できたとなりました。

「(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点」につきましては特にございません。

「(3) 指定管理者制度継続の検討」につきましては、指定管理者制度の導入効果が十分認められることから、指定管理者制度を継続することとしたいと考えています。

「(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見」としましては、案としまして、「適正な事業運営を行い、概ね事業計画どおりの事業運営が行っている」とした上で、「千葉市の観光拠点として、利用者のニーズにこたえられるよう努められたい」、更に、「自主事業については、収支の改善を図りながら、集客に結び付く企画を実施するよう努められたい」としました。

以上で説明を終わります。よろしくお願いします。

【部会長】 総合評価についての説明をいただきましたけれども、この後、質問、意見等の発言をお願いします。

活発な議論と言うか、進め方ですけれども、委員会の意見についての変更といえますか、追加、あるいは削除、表現の変更等の有無と言う前提での質問、意見を述べていただくということで、効率的に、かつ活発な議論を進めたいと思いますので、それを念頭に置いてご発言願います。

それと、前提として、もう一度確認ですけれども、先程のが年度評価です。今やるのが総合評価。どこが違うかといった確認をしておきたいと思います。資料2で、年度評価については、

「次年度以降の管理運営をより適正に行うため」、それに対して、総合評価は「次期指定管理者の選定等に活用するため」と、目的が違うと言うことで、それぞれ違う目的に向けての、先程は年度評価であり、今、検討すべきものは総合評価と言うことになりますので、その方向に向けての意見として、これでよろしいのかどうかと言う観点から、どうしてこう言う意見に取りまとめられたかの質問なり、あるいは、対象のデータについての質問なりと言うことで進めていきたいと思います。

少し進行を先走りますけれども、もし特別に意見、異論等がないようであれば、委員会の意見に沿っての決議と言うことになりますので、どうぞ、お願いします。

【委員】 先程言ったことが、こちらにも大いに関係すると思うんです。繰り返しになりますが、5年間に本来の全体を通した「ビジョン」と「ミッション」をしっかりと全うした事業であるかどうかと言う評価が1番大事ではないかと思うんです。それが評価されるのは、恐らく、1番テーマに上がっていた自主事業のところであり、実は「その他」のところではないかと思うんです。

要するに、事業者の1番努力が見えるところと言うことです。それがしっかりと「ビジョン」と「ミッション」に繋がっているかどうかと言うところが1番大事ではないかと思います。どのぐらいまで遡って、それが評価できるか分かりませんが、今後と言う話であれば、次年度からはその辺を強調したものにしていただけたらと思っています。

それから、これは改善と言うことになってしまうのかも知れませんが、今、見ていて、少しバランスが悪いかなと。例えば、総合評価の抜粋一覧表の、「5 施設の効用の発揮、施設管理の能力」の「(1) 利用促進の方策」、これはどうも中身を見ると情報発信みたいなことになっていまして、実は、この程度のことは当たり前のようにやっていることなので、今、も

しそれを言うのであれば、ITだとかビッグデータだとか、スマホのソフトを開発するとか、そういうレベルまで行って利用促進に初めて繋がるのではないかと思います。それから、利用促進と言うのは少し意味が違うんじゃないかと。利用促進と言うのは、例えば、施設内に立ち寄り地点を増やすとか、滞留時間を延ばすとかと言うことで利用を促進させていくと、実はそういう視点じゃないかなと思います。だから、これは集客促進になっているのではないかと。集客した人たちを、今度は中でどうやって利用促進させるかと、多分そういう視点は分けた方が良いと言う気がします。

それから、自主事業を何らかの形で、少し重きを置く評価の仕方が出来ると良いかなと思います。「その他」も含めて少し重きを置くような評価ができると良い。

以上でございます。

【部会長】 この事業者に対する「ミッション」と「ビジョン」、これはどこかに出てきましたか。

【観光MICE企画課長】 「ビジョン」と「ミッション」は総合評価シート、1番目の基本情報と言うところに記載がございます。

【部会長】 それであれば、「ビジョン」、「ミッション」と言う表現で足りると言うことでよろしいですか。

【委員】 そうですね。初めの頃はあったような気がするんです。海とか、色々な言葉が出ていたような気がしたんですけど、だんだん無くなってきたと言う感じで、惰性的になっている感じがします。

【観光MICE企画課長】 これは、最後の4ページの委員会の意見のところに付け加えるような格好になると思うんですけども、「ビジョン」、「ミッション」の実現に向けた管理運営の基準や評価項目を設定して、そういった事業の促進を図ることとか、そういった趣旨のご意見でよろしいでしょうか。

【委員】 「ビジョン」や「ミッション」により効果のある事業を推進すると言うことが求められているみたいな、そういう感じですかね。

【部会長】 その方向で取りまとめていただくとして、気になるのは、「ビジョン」、「ミッション」と言うのをいきなり出しても上手く伝わらないと言うか、「ビジョン」、「ミッション」と言うのは指定管理者が与えられたものなのか、掲げたものなのか、と。与えられた「ビジョン」、「ミッション」、あるいは、掲げた「ビジョン」、「ミッション」と、頭に修飾語を付けた方が良いのではないですか。

【観光MICE企画課長】 この「ビジョン」、「ミッション」は当然、市の方で掲げている「ビジョン」、「ミッション」になりますので、そういったところが分かるような表現にした方が良いと言うことですね。

【部会長】 そうですね。そこをひと工夫お願いしたいと思います。

他にご意見等なければ、この1点を加える形で修正していただく、表現を取りまとめて貰いたいんですけども。5分を一応目途にして休憩とします。

(休 憩)

【部会長】 それでは、事務局から、意見案をお願いします。

【経済企画課長】 1点目、「適正な施設管理を行い、概ね事業計画どおりの事業運営を行っている。」。2点目、「千葉市の観光拠点施設として、利用者のニーズに応えられるよう努

められたい。」。3点目、「市が掲げたビジョン、ミッションの実現に向けて、より効果的な施設の管理運営や自主事業の実施に努めること。」。続けて、「なお、自主事業については、収支の改善を図りながら、集客に結び付く企画を実施するよう努められたい。」

以上でございます。

【部会長】 まず、確認しますけれども、3項目なんですか。それとも4項目なんですか。「なお」が入って、繋がるような感じなのかどうか。

【経済企画課長】 4項目で提案させていただきました。

【部会長】 4つだと「なお」は要らないのでは。

【経済企画課長】 それでは「なお」を除きます。

【部会長】 取りまとめていただいた意見案ですけれども、ご意見、発言、お願いします。それでは、2項目と3項目なんですかけれども、2項目は「努められたい」、3項目は「努めること」、これはどちらかに統一した方が良いんじゃないかと思います。

【経済企画課長】 それでは、年度評価と合わせて「努めること」にします。

【部会長】 では、2項目、4項目を「努めること」でまとめていただきましょう。他に、意見（案）についてのご意見、ご発言はございますでしょうか。

無いようでしたら、千葉ポートタワーにおける指定管理者の総合評価について、本部会の意見としては、ただいまのとおり、決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【部会長】 それでは、その旨、決定いたします。

なお、意見の文言の整文等につきましては、私にご一任願います。

最後に、今後の予定について、事務局より説明をお願いいたします。

【経済企画課長】 長時間にわたり、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

お手元の「資料3 今後の流れについて」をご覧ください。

今回は、第1回観光部会として、千葉ポートタワーの年度評価、総合評価についてご審議いただきました。先程取りまとめました意見は、委員会より市への答申となりますので、今後の施設の管理運営に活かすとともに、次期指定管理者の選定に反映させて参ります。また、年度評価、総合評価シートについては、本市ホームページにて公表をいたします。

今年度は、指定管理期間の最終年度であり、次期指定管理予定候補者の選定を行う必要がありますので、お手元にありますとおり、7月、第2回の観光部会では、次期指定管理者の募集条件や審査基準等についてご審議いただく予定でございます。いただいたご意見を踏まえ、8月以降に募集要項や管理運営の基準を公表し、応募者を受け付けいたします。

その後、10月、第3回観光部会では、次期指定管理予定候補者の選定についてご審議をいただき、委員会より市へ答申をいただくことになります。

答申を踏まえまして、市として指定管理予定候補者を決定し、仮協定を締結した後、11月頃開会予定の市議会第4回定例会において、指定議案及び債務負担行為の補正予算案を提出いたします。市議会の議決後、指定管理者を指定し、基本協定書を締結、令和3年度より新指定管理者による管理が開始となる予定でございます。

説明は以上でございます。

【部会長】 何か、今の点についての質問はございますでしょうか。

無いようでしたら、以上をもちまして本日の議事を終了といたします。

それでは、事務局に進行をお返しいたします。

【経済企画課長】 長時間にわたりましてご審議いただきまして、ありがとうございました。

2点、事務連絡を申し上げます。

本日の議事録ですが、後日、皆様に内容のご確認をお願いする予定です。案を作成次第、事務局よりご連絡をいたしますので、ご協力をお願いします。

次に、常任委員の皆様と西田委員様におかれましては、来月の6月25日木曜日、第1回農政部会を開催する予定でございます。詳細につきましては、後日、お知らせいたしますので、よろしくお願いします。

以上で終了いたします。ありがとうございました。

【部会長】 どうもお疲れさまでした。